

# 《ターゲットバードゴルフ》

・ゴルフボールにバドミントンのシャトルをつけたボールを、ゴルフクラブで打って、傘を逆さまにした形のホールに入れるのを競います。

## 写真



## 起源

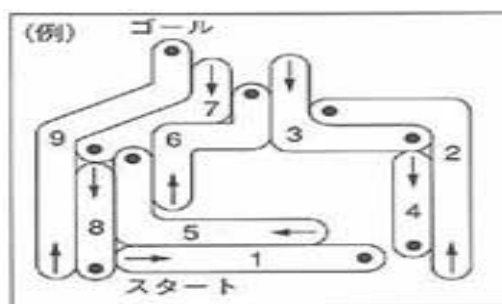
・埼玉県川口市の野嶋孝重が、狭い土地でもゴルフができるようにと1969年に考案した。

## 人数

・1組4人以内の個人戦で、何組でもできる。

## 場所

・ショートホール(パー2、約16m～22m)、ミドルホール(パー4、約50m～60m)、ロングホール(パー4、約50m～60m)の3種類を組み合わせ、1ラウンドを18ホール、パー54を目安に設定する。ただし、スペースに応じて何ホールでもかまわない。  
・当施設では、体育館裏に9ホールを常設している。



## 進め方

・打順はジャンケンなどで決め、第1打はスイングマットのティーアップから始める。  
・第2打以降は、ホールから最も遠いボールの人からプレーする。  
・ボールは15cmの範囲内で、ホールに近寄らない方向の別地点に移動して打っても良い。  
・ボールの羽の向きを変えてプレーしてもかまわない。  
・アドバンテージホール(上部ネット内)か、セカンドホール(下部フープ内＝ボールの球体の部分が輪内に入ればOK)にホールインして、そのホールのプレーは終了する。  
・2ホール目以降のティーショットは、前のホールスコアの少ないプレーヤーから始める。同じスコアの場合は、前ホールティーショットの順番に従う。  
・ボールの識別や他のプレーヤーの妨害とならないようにするためにボールを拾い上げるときは、マーカーを置いてから行う。

## 勝敗の決め方

・アドバンテージホールに入った場合は、打ったショット数、セカンドホールに入った場合は、打ったショット数に1打付加する。  
・全ホール(9ホールか18ホール)のプレーをし、合計打数が少ないプレーヤーの勝ち。

## その他

・ボールを打つ意思でクラブを振って、空振りした場合は、1ストロークと数える。  
・1ストローク中に、2回以上ボールに当たった場合は、合計2打として数える。  
・ボールがフェアウェイから出たときは、OBで1打付加し、OB地点からそのプレーをした地点を結び、OB地点に一番近くのフェアウェイ地点からストロークする。  
・ボールが木の上等のストロークが不可能な地点に止まった場合は、OBで1打付加し、1m範囲内でボールを移動して、次のストロークを行う。  
・OBラインが石灰やロープで表示されている場合は、そのライン上はOBとなる。